

## 2012年度事業報告

### I 事業概要

当財団は設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、2011年4月には公益財団法人に移行し、これまで以上に、ガバナンスや透明性の向上を目指した組織の運営とともに市民活動団体を総合的に支援する組織として「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」、「未来ファンドおうみ」の5本の事業について、的確なる時代認識を持ち、組織目標を定めながら事業展開を図ってきた。

2012年度の取組に当たっての大きな視点としては、「NPO法の改正」と「新寄付税制」の成立が上げられる。

「NPO法の改正」は、NPOの存在感（プレゼンス）の高まりを背景としながら財政基盤強化につながる措置等を中心とした大幅な改正（施行2012年4月）が行われ、NPO法人が市民の身近な存在として応えていくことが期待されたことである。このことは、NPO等にとって「追い風」であるものの、基盤強化や情報公開が求められるなど、今以上にNPO側も努力していくことが求められている。

「新寄付税制」は多様化する社会ニーズを、人々の「支え合い」や地域の「絆」により充足していくという観点から、個人が寄付する場合、国税と地方税あわせて寄付金額の最大50%が税額控除されることを内容とするものである。お互いさまが地域を支えるという「未来ファンドおうみ」を展開する当財団にとっても、その役割はますます大きいものとなったと考える。

具体的な取組としては、公益財団法人のメリット最大限を生かし、地域への想いを寄付として受け入れ、市民活動を支援する「未来ファンドおうみ」の新たな展開、NPOと企業など多様な組織との連携を図る「ネットワークの促進」、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾の運営等」に努めてきた。2年目なる国・県の「新しい公共」事業の取り組みについても、認定NPOを目指す団体や事業化を目指す団体の支援等を行う「マネジメント支援事業」とともにファンド事業の展開を支援する「寄付文化の醸成」にポイントを定め実施した。

また、ファンド事業の円滑な展開が可能となる税額控除という寄付者のメリットを最大限活かせる税額控除団体の認証を10月12日付けで滋賀県知事より得ることが出来た。

組織、体制面では、公益財団法人移行による理事会・評議員会の機能が強化されることや事業内容についての説明責任にも対応するため「評価指標」の導入にも取り組んだ。

## Ⅱ 事業実績

### 1. 情報提供事業

#### ① 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

A4 サイズ8頁 年4回発行（6月、9月、12月、3月）

No.82 特集「滋賀県のNPO法人の今をご紹介します。

～滋賀県のNPO法人現状調査から～

No.83 特集「地域プロデューサーをめざして

～おうみ未来塾第12期スタート～

No.84 特集「認定NPO法人をご存知ですか？

～誰もが社会を支える主役になる～

No.85 特集「淡海ネットワークセンター15周年記念講演「よりよい滋賀をともに支える社会のために」

「未来ファンドおうみフォーラム「子どもたちに伝えたい 未来、勇気、ささえあう心」」

部数：1万部/回

配布先：市民活動団体、個人、行政（県・市町）、社会福祉協議会、図書館、公民館、ホール、大学、高校、銀行、郵便局、他府県NPOセンターなど2,030カ所

※市民活動団体参加型の発送作業は、当センターの発送を手伝っていただく他、団体の情報発信支援・ネットワーク促進をねらいとしている。年4回の発送作業で市民活動団体から発送ボランティア 34名が参加。



#### ② 未来ファンドおうみニュースレター（新しい公共支援事業）

市民の想いを込めた寄付を市民活動への助成につなぎ、おたがいさまで支え合う、未来ファンドおうみから、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例など寄付文化を育むことを目的に発行している。

A4 サイズ4頁 4回発行（6月、9月、12月、3月）

3号 話題「寄付に想いを託して 未来を創る社会へ」

中村 順一（淡海ネットワークセンター 理事長）

4号 話題「寄付がつなぐ社会の絆」

寄稿：高橋 陽子（一般社団法人日本フィランソロピー協会 理事長）

5号 話題「市民ファンドの時代」

寄稿：深尾 昌峰（公益財団法人京都地域創造基金理事長）

6号 話題「寄付のチカラ」

寄稿：米田 佐知子（子どもの未来サポートオフィス 代表）

部数：1万部/回

配布先：情報交流誌おうみネットと同じ



### ③ ブックレットの発行

ブックレットは、センターが開催する講演会や講座などの記録をまとめてシリーズで発行している。

#### ■ブックレット32号

・次の講演記録をまとめた。

(i) 淡海ネットワークセンター15周年記念講演

「地域のニーズに応えるための知恵と力とNPOの責任」

講演者：山岡 義典（認定NPO法人日本NPOセンター 顧問）

(ii) びわ卓フォーラム2013～「新しい公共」で次代を拓く～分科会4

「地域で生きのこる組織力」

講演者：水谷 綾（社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長）

A5 サイズ 42ページ 発行部数 700部

#### ■ブックレット33号

・おうみ未来塾の13年にわたる活動状況を振り返りながら、今後の課題を考える教材としてまとめた。

「地域プロデューサーの時代～おうみ未来塾がめざしてきたもの～」

執筆者：北村 裕明（おうみ未来塾塾長/滋賀大学理事兼副学長）

A5 サイズ 60ページ 発行部数 700部

### ④ 活動団体データベースの整備

照会対応や情報提供への利便性、センターのサービス向上を図るため、各担当者が個々に使用していた関係先のデータや新聞データ、さらには、これまでの相談・指導等の経過等について一元的に蓄積・管理するシステムを継続運用した。

### ⑤ 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり情報、人情情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供するとともに、図書および雑誌の閲覧・貸出を行い、広範な市民活動関連の情報発信拠点として活動した。

また2012年度は、貸出図書・閲覧用資料の整理を行い、資料については一部廃棄した。整理後の一覧リストはホームページに掲載し、資料リストは「市民活動ふらっとルーム」でのリスト検索を可能にした。

### ⑥ インターネットの活用

センターのホームページ・ブログを通じて、センターの事業や市民活動団体の情報発信を行った。

・ホームページ：アクセス件数 55,502 件 （1日平均 152 件）

・ブログ：アクセス件数 50,075 件 （1日平均 137 件）

・twitter と facebook の活用

## ⑦ メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

無料メールリングリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

- ・登録件数 1,072件
- ・配信回数 37回（第303号～339号）

## 2 市民活動促進基盤強化事業

### (1) 組織基盤強化事業

#### ① 相談業務の実施

- ・県民や団体のさまざまな相談（会計・税務・労務・設立等）に応じる窓口を運営した。

相談実績：来室・訪問171人 電話101件

メール・fax 28件

- ・「NPO法人設立」や「団体の組織運営」などをテーマにNPOミニ講座を開催した。

毎月1回（第2金曜日）設定 開催 9回 参加者計 26名

- ・「NPO会計の初歩」をテーマに会計はじめの一步講座を開催した。

毎月1回（第2金曜日）設定 開催 8回 参加者計 39名

- ・「活動計算書」をテーマに活動計算書ミニ講座を開催した。

毎月1回（第3金曜日）設定 開催 5回 参加者計 31名

#### ② NPOサポート業務

市民活動団体の組織基盤の強化のため、職員等が訪問面談してサポートを行った。

- ・サポート団体数：10団体
- ・面談回数：29回

##### ・内容

- おうみNPO活動基金2012採択団体（3団体）
  - トポス(TOPOS)（3回）
  - 特定非営利活動法人元気な仲間（2回）
  - マキノまちづくりネットワークセンター（3回）
- びわこ市民活動応援基金2012採択団体（4団体）
  - 特定非営利活動法人かじやの里（3回）
  - マザー・サプリ（6回）
  - 特定非営利活動法人外出ボランティアスマイル(3回)
  - エコツーリズム協会しが（3回）
- びわ湖の日基金2012採択団体（3団体）
  - ホテルの学校（3回）



- NPO法人びわ湖トラスト（1回）
- 白鳥川の景観を良くする回（景観隊）（2回）

③ 市民事業相談の実施

事業展開を模索する団体の相談に応じた。

- ・サポート団体数：12団体
- ・面談回数：21回

④ NPO支援センター連携事業

淡海ネットワークセンターと県内に設立されている地域支援センター等のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換を行う意見交換会を開催した。

⑤ 市民活動支援関係県域団体連絡調整会議

県域の市民活動支援組織が事業の連携を目的に情報交換を行った。

⑥ 市民活動ふらっとルームの運営

ワーキングコーナーおよび情報コーナーを一体化して「市民活動ふらっとルーム」とし、人と情報の交流促進を図った。

〈ワーキングコーナーの運営〉

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えたワーキングコーナーの運営を行った。

利用実績： 623件  
834人

〈情報ボックスの運営〉

利用団体 60団体

〈図書コーナーの運営〉

利用者数 794人



⑦ マネジメント支援（新しい公共支援事業）

（目的）

前年度に滋賀県内NPO法人の状況をできるだけ正確に把握するため、資金状況、組織運営、情報開示、マネジメント支援ニーズについて調査を行った。今年度は、マネジメント支援対象とするNPO法人を選定し、ニーズに対応した支援を行った。特に認定NPO法人を目指す団体への支援、市民事業の充実を目指す団体への支援、合併・解散を検討する団体への支援を実施した。

（i）認定NPO法人取得への支援 対象20団体

- ・組織運営面（法令遵守、適正な会計管理）の課題と対応
- ・組織内での合意形成
- ・組織で取り組みファンドレイジング戦略づくり について支援

・認定NPO法人をまだ取り組む余裕がないといわれた団体	11団体
・認定NPOの制度を理解されたがそれ以上の進行には至らなかった団体	4団体
・認定NPOに求められる会計基盤を確認し、会計相談から始まった団体	1団体
・会計相談から基盤整備を行い、次年度の事業開始年から条件整備を行う団体	4団体

(ii) 市民事業化拡充への支援 対象15団体

事業化しようとする活動の分野や団体の対応スピードに応じて、専門家を派遣し、次のステップへのタイミングの検討など、それぞれの団体に応じた対応を行った。

・事業化を本格的には考えていない団体(この時点)	4団体
・事業化の芽生え	3団体
・事業化のイメージ作り	7団体
・基本設計・詳細設計	1団体

(iii) 解散支援 対象3団体

解散にかかる登記関係の手続き支援

・自分たちで行うといわれた団体	2団体
・解散手続き支援	1団体

(iv) 地域課題を解決するために共感を生むPRとは！

日時：2012年12月14日（金）13：30～16：40

会場：県民交流センター204会議室(大津市)

参加者：11名

講師：神崎 英徳（株式会社PRリンク代表取締役）

目的：地域を支えるNPOが、持続的で発展的な組織として地域社会に定着していくことが求められるなか、市場経済の仕組み中で、サービスや事業を展開し、持続性と社会的価値を高める動きが注目されている。こうした市民事業を展開するために、提供するサービスやマーケットの開拓のためのPRは非常に大切であり、活動を人々に広く知らせ、理解してもらうための表現、売り込み、自己宣伝=PRの仕組みや方法を学び、次なる展開を目指すことを目的として開催。



たいへんよかった	3名
よかった	4名
どちらでもない	0名
あまりよくなかった	1名
よくなかった	0名
合計	8名

(V) 共感とともに夢と想いを実現するファンドレイジングセミナー

日時：2012年11月11日（日）13：30～16：30

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが 研修室A(近江八幡市)

参加者：20名

講師：鈴木 歩（NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会）

目的：市民が地域課題への対応のために、実現したい夢を、多くの人の共感とともに形にするためのファンドレイジング（資金集め）について学ぶ。ファンドレイジングが目指すものは、単なる「寄付集め」ではなく、「寄付」は社会を変える力となる「参加」の形態であり、市民の力を掘り起こすものであることであり、自分たちはどんなファンドレイジングができるのかを、参加者同士が共有しながら考えることを目的として開催。

たいへんよかった	5名
よかった	8名
どちらでもない	0名
あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名
合計	13名



(vi) 市民の信頼を得て、市民に支えられる NPOになるために～組織力を強める～

（びわ卓フォーラム2013～「新しい公共」で次代を拓く～ 分科会4）

日時：2013年1月14日（月・祝）13：30～16：30

会場：県民交流センター201会議室(大津市)

講師：水谷 綾（社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長）

目的：マネジメント支援として、認定を目指す団体への支援と市民事業の充実を目指す団体への支援を行ってきたが、支援の中から見えてきた課題の1つが、組織内でミッションやビジョンが共有されていないという点だった。事業を進める時にも、支援者を広げ組織でファンドレイジングをしていく時にも、その団体の目的や使命（ミッション）と団体が目指す姿（ビジョン）が、組織内で十分に共有されていることが必要となるので、これらの重要性について学び、さらにミッションとビジョンの共有とそこへ到達するための中期計画の作成を目指して、参加者同士が学び合うことを目的として開催。

たいへんよかった	6名
よかった	8名
どちらでもない	0名
あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名
合計	14名



## (2) 市民活動支援事業

### ① 協働サロンの開催

#### 第1回 助成団体担当者のためのセミナーおよび助成金セミナー

日時：2012年7月6日（金）

（1部）10：00～14：40 助成団体担当者のためのセミナー

（2部）15：00～16：50 助成金セミナー

場所：県民交流センター207会議室（大津市）

参加者：31名

#### （1部） 助成団体担当者のためのセミナー

内容：県内の助成する側の団体が一堂に会して、公募からフォローアップに至るまでの助成の基本的サイクルに関する仕組みを学び、意見交換を行った。

講師：本多史郎（公益財団法人助成財団センター事務局長）

「選考について」「フォローアップについて」

講師：ファティア・ビュルクナー（ロンバー・オディエ・ダリエ・ヘンチ信託会社）

「欧州における先進助成手法の紹介—中型、小型の財団を中心に」

#### （2部） 助成金セミナー「助成団体の思いを聞いて、助成金をGETしよう！」

内容：NPOの方々を対象に県内の助成団体から、自分の団体の助成事業について団体の思いや仕組みを伝える場として開催した。この時期、助成金募集は終わっているが、今後の参考にしてもらうために、各助成事業について話をされた。

講師：田中 皓（公益財団法人助成財団センター専務）「全国の助成団体の動向」

県内助成団体：10団体

たいへんよかった	1名
よかった	4名
どちらでもない	4名
あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名
合計	9名





## 第2回 みんなのおたがいさまで地域に生きる

日時：2012年9月19日（水）14：00～16：30

場所：etokoro(エトコロ)(東近江市)

参加者：15名

講師：谷口郁美（滋賀県社会福祉協議会地域福祉担当課長）

内容：地域コミュニティから生まれたテーマ型組織や地縁組織関係者、市民活動支援関係者が集まり、お互いの活動の交流を通して、次へのステップが生まれることを目的として開催した。  
etokoro(エトコロ) は民家を改修して、子どもたちや3世代交流などの活動をしているところなので、場の持つ雰囲気もあって和やかに意見交換が行われた。



たいへんよかった	1名
よかった	4名
どちらでもない	4名
あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名
合計	9名

## 第3回 「アート」でつくる住みごこちよいまちづくり

日時：2012年12月9日（日）13：00～17：00

場所：集り処 縁（ゆかり）(草津市)

参加者：21名

講師：門脇篤（まちとアート研究所 主宰）

内容：アートやまちづくりに関心のある方、「アート」でまちを元気にしたいと考える方々が集まり開催した。講師から全国での取り組みや被災地で生まれつつある意識や社会についての報告を聞き、参加者どうしのグループワークを行った。

ワークショップでは、参加者が「アートでまちを元気にする」ことについてグループで話し合い、人がつながっていく居心地の良いのがまちづくり、「アート」はいきいきワクワクする活動ではみんなと一緒に楽しんだらうな、から始まるなどの意見があった。

たいへんよかった	2名
よかった	7名
どちらでもない	1名
あまりよくなかった	0名
よくなかった	0名
合計	10名



## ② 寄付文化醸成事業（新しい公共支援事業）

### ■未来ファンドおうみフォーラム「子どもたちに伝えたい 未来、勇気、ささえあう心」の開催

日時：平成25年2月11日（月・祝）13：00～17：00

場所：ピアザ淡海 県民交流センター 大会議室(大津市)

講演：「はやぶさを産んだ文化とこれからの日本」

的川泰宣（宇宙航空研究開発機構 JAXA 名誉教授・技術参与  
認定 NPO 法人子ども・宇宙・未来の会 会長）

活動展示：県内市民活動団体 24団体

来場者数：99名

出展団体：56名 合計：155名

内容：寄付でささえあう社会をめざす未来ファンドおうみフォーラムを開催。

講演では、宇宙開発を推進し、また子どもたちに「いのち」への愛情を育む宇宙学校を各地で開催する認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会を設立している講師が、チームを強くするために情熱を注ごうという確信が大切であること、社会に貢献したいという子どもたちを育てることの大切さを話された。

また、会場では、県内で活動する24の市民活動団体がポスター展示を行い、来場者に活動紹介をした。出展団体企画会議で提案された取り組みとして、参加者には活動への「共感メッセージ」を書き、投票するよう依頼、このことで、来場者一人一人が、自分たちに出来ることを考え、寄付で市民活動への参加について考えるきっかけづくりとした。



### ■市民が支える地域社会 冊子の作成

「滋賀の未来をつくる～寄付でささえあう社会を目指して～」の作成

発行部数：700部

配布先：県内公共施設、図書館、関連機関・団体等

寄付によって民が民をささえる仕組みである「未来ファンドおうみ」がめざす社会について紹介することで、市民が参加する「新たな寄付文化」についてまとめた。

また助成によって活動を充実させてきた団体の活動紹介を掲載し、寄付がどのように地域で活かされているのかを伝えることで、寄付者の市民活動への期待と信頼を広めことを目的に作成。

内容 寄稿・座談会・助成事業を受けた団体の事例 など

### ③ 15周年記念講演 よりよい滋賀をともに支える滋賀のために

日時：2013年1月14日（月・祝）9：30～11：30

場所：県民交流センター 大会議室(大津市)

参加者：92名

目的：淡海ネットワークセンターは設立15年を迎えるにあたり、これまでの取り組みを振り返るとともに、よりよい滋賀を一人ひとりの市民が主役として市民社会に関わり支える社会をめざし、多様な主体とともに担うべき役割について、参加者とともに考える目的で開催。

#### (1) 淡海ネットワークセンター15年のふりかえりとこれから

内容：地域の課題を自ら解決しようとする市民を支え、市民、企業、行政など多様な主体が広くつながることで、よりよい地域づくりをめざす淡海ネットワークセンターの、これまでの事業紹介と今後の方向性について説明した。

#### (2) 講演「地域のニーズに応えるための知恵と力とNPOの責任」

講師：山岡義典（認定NPO法人日本NPOセンター 顧問）

内容：一人ひとりの市民が主役として市民社会に関わり支える社会のために、多様な主体とともに担うべき役割について講演いただいた。

NPOに必要な知恵と力は一つ目は「地域のニーズを認識する」、二つ目は「地域のニーズに応える」、三つ目は「地域の人々の参加を促す」、四つ目は「地域の組織と協働する」と、NPOにとって地域で活動していくことの基礎をわかりやすく話された。地域のニーズに応えるためにも、NPOの組織基盤の強化の必要性について強調された。



たいへんよかった	4名
よかった	12名
どちらでもない	0名
あまりよくなかった	1名
よくなかった	0名
合計	17名

### 3. 人材育成事業

#### (1) おうみ未来塾の開催運営

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講した。新たに第12期生を受け入れた。また、サブ講座では、未来塾生のネットワーキングを目的に卒塾生と現役生との交流会の開催や、卒塾生を本講座のコーディネーターに登用するなど、卒塾生のフォローアップの仕組みを取り入れた。

#### 【第12期生】

塾生募集 2012年3月15日～2012年4月15日

募集説明会 6カ所で 43名参加

応募者面談会 2012年4月28日 応募者数：35人

塾生数 29名（入塾時30名 退塾 1名）



#### ◎ おうみ未来塾 12期生のプログラム

2012年6月に入塾し、12月までは基礎実践コースとして滋賀県内各地でのフィールドワークを中心に、概ね月1回で計9回の本講座と塾生が自ら企画する計8回のサブ講座を行ってきた。2013年からは創造実践コースに入り、12月までの期間で地域プロデューサーのためのグループ活動として、塾生でテーマを設定し4つのグループに分かれて地域で活動を開始している。

#### ■ 基礎実践コース

○ 本講座、入塾式、発表会 等

【入塾式（公開）】（コラボしが21 3F 中会議室） 2012年6月9日

開講記念講義「おうみ未来塾がめざしてきたもの」

パネルトーク「地域プロデューサーについて語る」

講師：北村裕明（おうみ未来塾塾長/

滋賀大学理事兼副学長）

岡崎昌之（おうみ未来塾アドバイザー/

法政大学現代福祉学部教授）

岸田真代（おうみ未来塾アドバイザー/

NPO法人パートナーシップサポートセンター代表理事）

藤井絢子（おうみ未来塾アドバイザー/

NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク 代表）

内容：おうみ未来塾の入塾式として各講師におうみ未来塾の歴史、おうみ未来塾が目指す地域プロデューサー像について語っていただいた。



【本講座①】（近江八幡市）2012年7月1日

テーマ：地域プロデューサーの時代



講師：北村裕明（おうみ未来塾塾長/滋賀大学理事兼副学長）

西村恵美子（八幡堀を守る会/酒遊館オーナー）

石井和浩（NPO法人一粒の会 理事）

成瀬和子（NPO法人しみんふくし滋賀 専務理事）

内容：開講してからの第一講は、北村塾長に案内いただき、近江八幡市における地域づくりの事例を参考にしながら地域プロデューサーについて深めた。

【本講座②】（長浜市余呉町 合宿） 2012年7月21日、22日

テーマ：地域プロデューサーを考える

講師：岡崎昌之（おうみ未来塾アドバイザー/  
法政大学現代福祉学部教授、）

木下重樹（株式会社余呉バス 代表取締役）

横山義淳（余呉オペラ実行委員会 実行委員長/  
べんがら座主宰）

唐子恵子（NPO法人自立の郷

ウォームアップスクールここから 理事長）

内容：合宿をしながら塾生同士の交流をはかるとともに、余呉の事例を参考にして地域プロデューサーについて語り深める機会とした。



【本講座③】（高島市） 2012年8月25日

テーマ：新しい価値による地域づくり

講師：石津 文雄（たかしま有機農法研究会）

美濃部 武彦（針江生水の郷委員会）

高橋 正通（針江生水の郷委員会）

安立 享（針江生水の郷委員会）

コーディネーター：

澤 孝彦（おうみ未来塾運営サポーター/  
おうみ未来塾 1 期生/セブンドロップス代表）

内容：地域の人が新しい価値を地域づくりに取り入れてきた事例をもとに、どのように地域へ理解を広げていき共に創ってきたのかということについて学んだ。



【本講座④】（東近江市愛東町） 2012年9月16日

テーマ：地域と共に創る（公開）

講師：藤井絢子（おうみ未来塾アドバイザー/  
NPO 法人菜の花プロジェクト

ネットワーク代表）

曾根原久司（NPO法人えがおつなげて 代表理事）

内容：地域と共に創られてきた市民活動の現場を訪ねて、学んでいくものとした。さらに、曾根原さんには、農山村の地域資源と都市農村交流を結びつけ地域活性



化をはかる事業の組み立て方を実際にプランニングするヒントを学んだ。

【本講座⑤】（東近江市能登川町） 2012年10月20日

テーマ：多様な主体と協働する地域づくり

講師：岸田眞代（おうみ未来塾アドバイザー/  
NPO法人パートナーシップ  
サポートセンター代表理事）

北川陽子（NPO法人エトコロ 理事/  
ファブリカ村村長）

大前哲（NPO法人かじやの里 事務局長）

内容：能登川における様々な地域の主体と協力しながらすすめている地域づくりの事例を見ながら、これからの地域プロデューサーとしてのあり方を探った。



【本講座⑥】（草津市） 2012年11月18日

テーマ：地域課題解決のための事業計画書づくりワーク

講師：中川芳江（株式会社ネイチャースケープ専務取締役）

内容：グループ活動の「地域課題解決のための事業計画書」  
を作成する能力を身につける。



【本講座⑦】（大津市）2012年12月16日

テーマ：グループづくり

内容：2年目の創造実践コースのグループ活動  
を行うために塾生同士で話し合い、グル  
ープに分かれる機会を設けた。

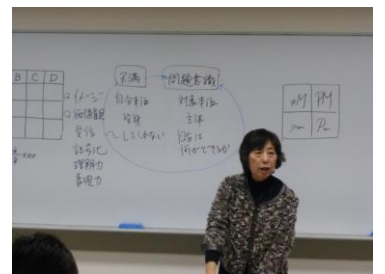


【本講座⑧】（ピアザ淡海会議室） 2013年1月19日

テーマ：合意形成とリーダーシップ

講師：岸田眞代（おうみ未来塾アドバイザー/  
NPO法人パートナーシップ  
サポートセンター代表理事）

内容：2年目のグループ活動に向けて、リーダー  
シップのあり方や合意形成のはかり方、個  
人と組織の関係を、ワークショップを通じて学ぶ機会とした。



【本講座⑨】（彦根市）2013年2月2日

テーマ：地域診断法

講師：鵜飼修（滋賀県立大学 准教授/  
近江環人地域再生学座専任講師）



内容：地域に入る前に客観的に地域を見る

科学的な手法を学ぶ。これからグループ活動を行う塾生が対象とする地域を診断した。

【グループ活動目標発表会】（大津市）2013年2月9日

講師：入塾式と同様

内容：グループ活動の目標発表を行い、各講師からアドバイスをいただき計画を磨く会とした。



○サブ講座

【サブ講座①】（大津市）2012年8月7日

テーマ：卒塾生交流会

コーディネーター：

小久保弘（おうみ未来塾運営サポーター/  
NPO法人ICT京都 理事）

内容：現役生と卒塾生の交流をはかるために開催。

現在、活動をしている大津周辺の卒塾生が集った。



【サブ講座②】（野洲市）2012年8月30日

テーマ：facebook 勉強会

内容：塾生達のコミュニケーションを円滑化するためツールの一つであるfacebookの使い方を自主的に学んだ。

【サブ講座③】（近江八幡市安土町）2012年9月15日

テーマ：第1回ファシリテーション講座

講師：廣水典生（コミュニティ  
ファシリテーション研究所 所長）

内容：地域づくりにはファシリテーションの技術が必要だと感じ、自主的に企画した。今回は基礎編である。



【サブ講座④】（草津市）2012年9月29日

テーマ：第1回ワールドカフェ 塾生の理解を深めるワークショップ

内容：グループ活動のために互いのことを知るべくワールドカフェ形式で交流の機会を設けた。

【サブ講座⑤】（甲賀市水口町）2012年10月8日

テーマ：第2回ファシリテーション講座

講師：村田和代（龍谷大学政策学部 教授）

内容：第1回に引き続き、今回は、実践を重視したファシリテーションの研修を企画した。

【サブ講座⑥】（米原市）2012年11月3日

テーマ：第2回ワールドカフェ 塾生の理解を深める ワークショップ

内容：第1回に引き続き、互いのことを知るためにワールドカフェ形式の交流会を開催した。今回はそれぞれが感じる地域課題についても共有した。

【サブ講座⑦】（米原市）2012年11月3日

テーマ：卒塾生交流会

内容：グループ活動を目の前にして、卒塾生から当時のグループ活動の過程を聞く機会を設けた。



【サブ講座⑧】（守山市）2012年11月27日

（彦根市）2012年12月6日

テーマ：NPOミニ講座

講師：膽吹憲吾（淡海ネットワークセンター）

内容：グループ活動をはじめるとあたりNPOの基礎について学ぶ機会とした。

○その他、塾生が主体的に塾運営に関わる仕組みとして、世話人会、代表者会議を月に1回程度開催した。

## ■創造実践コース

○おうみ未来塾12期生グループ活動

2月の目標発表会で次のテーマで活動に取り組むことを発表し、現在、活動中である。

【1】おうみのふるさと物語プロジェクト

テーマ「ふるさと物語で ところを育み 未来につながる

活動場所：野洲川流域

内容：地域固有の文化が眠る民話を掘り起こし、地域が継承できる仕組みをつくる。



【2】鹿深（かふか）de ござれ！

テーマ「鹿深再発見！つながりMAPプロジェクト」

活動場所：甲賀市水口町

内容：希薄になっている地域のつながりを魅力を伝える地域マップづくりへの市民参加を通してつながりをつくる。





### 【3】古々屋

テーマ「コミ活！～古民家活用サポーターズ～」

活動場所：米原市

内容：空き家になっている古民家を活用し地域づくり  
をする方策を地域に提案していく。



### 【4】8meets

テーマ「北之庄の地域資源を活かして、人と人、人と地域をつなぐ」

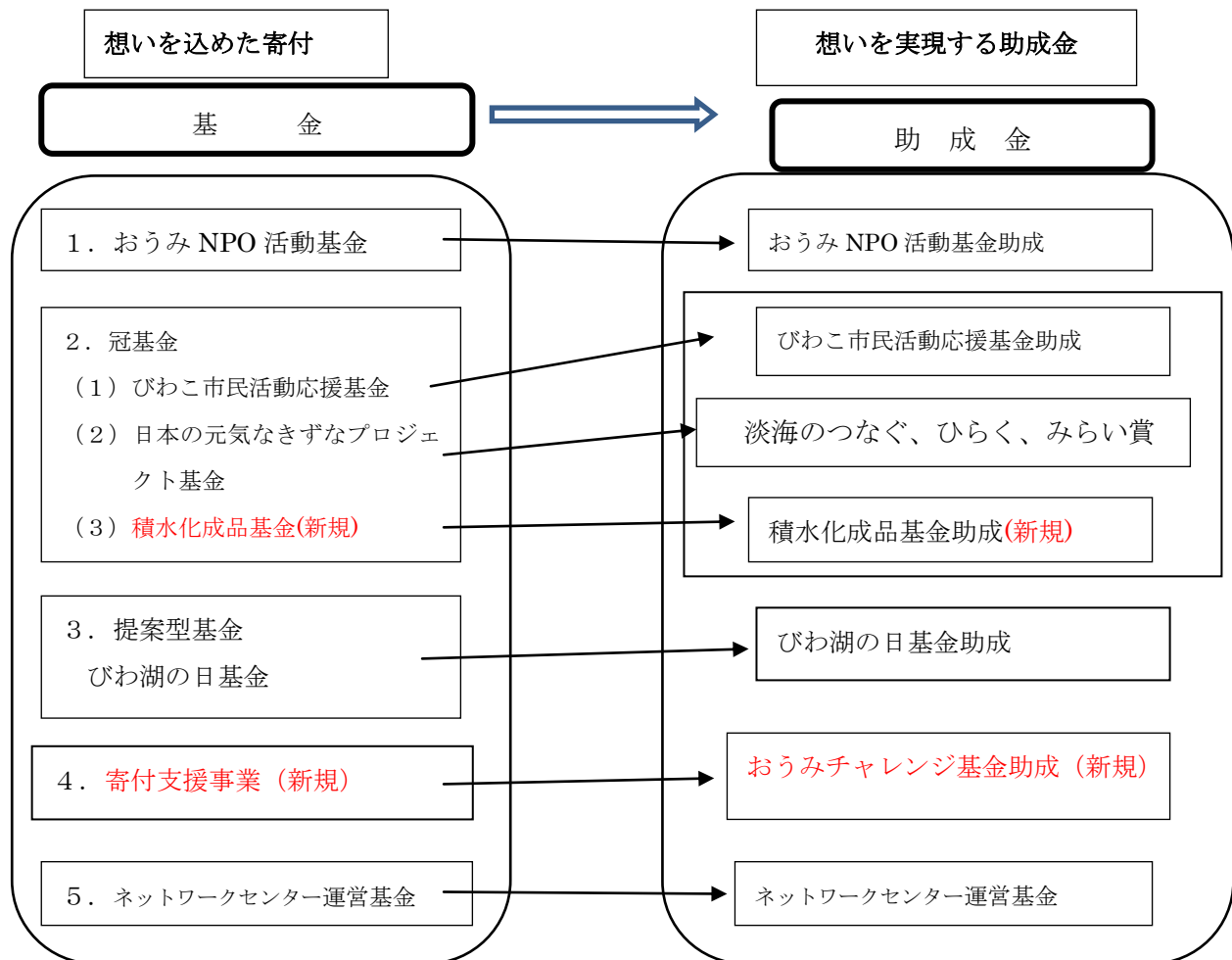
活動場所：近江八幡市北之庄

内容：担い手不足が不安視される地域のつながりを、  
あらためて掘り起こした地域資源を活かしなが  
らつなぐ仕組みを考え実行する。



#### 4. 未来ファンドおうみの運営

未来ファンドおうみは、多くの方々から地域への「想い」を寄付いただき、公益性、社会性、継続性の高い市民活動を実施する団体へ助成しています。新たにつくられた基金です。



##### (1) 助成金・寄付金の受領

- ① おうみ NPO 活動基金  
オムロン株式会社草津事業所 207,400円
- ② 日本の元気なきずなプロジェクト基金（2011年12月1日開設）  
びわこ市民研究所 270,000円
- ③ 積水化成品基金（2012年7月11日）  
積水化成品工業株式会社 300,000円



積水化成品工業株式会社  
寄付贈呈式

④ びわ湖の日基金（2011年7月1日開設）

真田和子	20,000円
匿名希望（個人1名）	300,000円
一般社団法人比良里山クラブ	12,000円
株式会社いのうえ	24,000円
株式会社ロハス余呉	20,000円
株式会社ヌーベルムラチ	10,000円

※びわ湖の日基金寄付つき商品

株式会社ヌーベルムラチ あわび茸商品 3種類  
 株式会社いのうえ 滋賀まるごとカレー、かぼちゃスープ  
 一般社団法人比良里山クラブ ヒラペリラ  
 株式会社ロハス余呉 山かぶドレッシング

びわ湖の日寄付つき商品



株式会社ヌーベルムラチ  
あわび茸商品



株式会社いのうえ



滋賀まるごとカレー 滋賀まるごとかぼちゃスープ



ロハス余呉  
山かぶドレッシング



一般社団法人比良里山クラブ  
ヒラペリラ

(2) 未来ファンドおうみ2012助成事業

NPO に対して資金助成を通じた自立支援を行う「おうみ NPO 活動基金」「びわこ市民活動応援基金」「びわ湖の日基金」により、NPO の基盤整備や事業支援に向けた助成を行った。また、「日本の元気なきずなプロジェクト基金」により「淡海のつなぐ、ひらく、みらい」賞で表彰した。

### ① オリエンテーション

日 時：2012年4月14日（土）11:00～12:00

場 所：県民交流センター207会議室(大津市)

内 容 採択10団体へ「未来ファンドおうみ助成事業の手引き」に基づき説明、質疑応答を行う。

### ② 淡海のつなぐ、ひらく、みらい」賞の発表

日 時：2012年4月14日（土）13:00～14:20

場 所：県民交流センター207会議室(大津市)

発表団体（4団体）

特定非営利活動法人やまんばの会

浜大津朝市運営委員会

ぼてじゃこトラスト

里山保全活動団体 遊林会

### ③ 中間報告会・相談会

日 時：10月24日（水）14:20～17:50

場 所：県民交流センター204会議室(大津市)

内 容：中間までの進捗状況と共に、相談シートに事業課題と組織課題を記入しそれを基に発表を行う。委員と中川芳江（株式会社ネイチャースケープ専務取締役）よりアドバイスを受ける。

報告団体

#### ・おうみ NPO 活動基金採択団体（3団体）

トポス（TOPOS）

特定非営利活動法人元気な仲間

マキノまちづくりネットワークセンター

#### ・びわこ市民活動応援基金採択団体（4団体）

特定非営利活動法人かじやの里

NPO 法人マザー・サプリ

エコツーリズム協会しが

特定非営利活動法人外出ボランティアスマイル

#### ・びわ湖の日基金採択団体（3団体）

ホテルの学校

NPO 法人びわ湖トラスト

白鳥川の景観を良くする会(景観隊)

### (3) 未来ファンドおうみ2013採択について

「おうみ NPO 活動基金」「びわこ市民活動応援基金」「びわ湖の日基金」

「積水化成品基金」（新規）の4件の助成事業と「日本の元気なきずなプロジェクト基金」淡海のひらく、つなぐ、みらい賞、および寄付支援事業「おうみチャレンジ基金」（新規）の募集を

行った。

① 説明会

米原、近江八幡、草津、大津（2カ所）の5カ所で開催した。

米原会場：12月15日（土） 6名（6団体）

近江八幡会場：12月15日（土） 4名（4団体）

草津会場：12月15日（土） 5名（5団体）

大津会場：12月16日（日） 2名（2団体）

大津会場：12月20日（木） 3名（3団体）

おうみチャレンジ基金説明会 4名（2団体）

合計 22団体

・募集開始 2012年12月1日

・募集締め切り 2013年1月20日

・申請受付 26団体

② 審査会

1次審査（書類審査） 2013年2月13日（水）

2次審査（公開プレゼンテーション） 2013年3月3日（日）

・採択団体

「おうみNPO活動基金」助成 採択2団体

助成決定総額 1,865,000円

特定非営利活動法人近江八幡市をつなぐ育成会

特定非営利活動法人マイママ・セラピー

「びわこ市民活動応援基金」助成 採択2団体

助成決定総額 369,000円

どろんこの会

特定非営利活動法人びわ湖トラスト

「びわ湖の日基金」助成採択2団体

助成決定総額 320,000円

鴨と蛭の里づくりグループ

南滋賀の里山を守る会

「積水化成品基金」助成採択1団体

助成決定総額 200,000円

特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会

「日本の元気なきずなプロジェクト基金」淡海のひらく、つなぐ、みらい賞

採択5団体 副賞50,000円×5=250,000円

白鳥川の景観を良くする会

NPO法人日吉台の福祉を語る会・あじさいくらぶ

特定非営利活動法人甲賀文化 輝き

特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

「おうみチャレンジ基金」

特定非営利活動法人おうみ犯罪被害者支援センター

#### (4) 未来ファンドおうみ助成事業成果発表会

「おうみ NPO 活動基金助成」と「びわこ市民活動応援基金助成」により採択された団体が、事業終了につき、成果発表を行った。

成果発表会

日 時：2012年4月14日(土) 14:20~16:50

場 所：県民交流センター207会議室(大津市)

発表団体(8団体)

#### (5) 未来ファンドおうみ運営委員会

第1回

日時：2012年7月17日(火) 9:30~11:30

場所：淡海ネットワークセンター

内容：積水化成品基金・新しい助成事業について 他

第2回

日時：2012年10月19日 10:00~12:00

場所：淡海ネットワークセンター

内容：2013年度助成事業について 他

■理事会、評議員会等開催状況

淡海ネットワークセンター

日 時	区 分	主 な 内 容
5月1日	第4回評議員会 (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員、理事の選任について</li> <li>評議員 中嶋→吉浜</li> <li>理 事 村上→本持</li> <li>岡野→山口</li> </ul>
5月18日	監事監査  (監事2名出席)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年度決算監査の実施</li> </ul>
5月24日	第5回理事会  (理事9名中7人出席)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年事業報告</li> <li>・2011年度決算報告</li> <li>・評議員会の開催</li> <li>・2012年度「収支予算書」「資金調達及び設備投資の見込み」</li> <li>・滋賀県 NPO 法人調査結果</li> </ul>
6月14日	第5回評議員会  (評議員8人中6人出席)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年度決算関係の承認</li> <li>・2011年度事業報告</li> <li>・滋賀県 NPO 法人調査結果</li> <li>・2012年度事業計画等</li> </ul>
11月15日	第6回理事会 (理事9名中6人出席)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年度補正予算</li> <li>・未来ファンドおうみの新しい基金開設</li> <li>・職務執行状況報告</li> </ul>
3月28日	第7回理事会 (理事9名中7名出席)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年度補正予算</li> <li>・2013年度事業計画および収支予算書について</li> <li>・未来ファンドおうみ管理規定の一部改正</li> <li>・職務執行状況の報告</li> </ul>